

## プレスリリース

KOTARO NUKAGA は、アメリカをベースに活躍する 7 人のアーティストのグループ展“FIXED CONTAINED”を開催する。参加アーティストはブライアン・アルフレッド (Brian Alfred)、フィレレイ・バエズ (Firelei Báez)、カルロス・ロロン (Carlos Rolón)、インカ・エッセンハイ (Inka Essenhigh)、ニール・ホッド (Nir Hod)、トニー・マテリ (Tony Matelli)、そしてゲストキュレーターでもある松山智一。会期は 2019 年 4 月 20 日(土)から 6 月 29 日(土)まで。

“FIXED CONTAINED”で取り上げるアーティストたちは、様々なメディアを巧みに用い装飾性や平面性という各々の表現を通して、私たちが生きる時代の複雑さや重層性を投影する作品を生み出す。彼/彼女らは自身の文化や歴史そして現代社会から、様式的なパターンや有用な情報を意図的に引用して組み直し (Fixed)、そこに新しい意味を吹き込む。そこでは文様、色気、彩度といった様々な要素が独創的な方法で混ざりあい、まるで高密度の容器 (Contained) のような作品から溢れる表現は、未知なる領域を予感させる。アルフレッドのペインティングは、平面性や抽象的な線を用いることで都市風景の骨格を浮き彫りにし、そこに見える社会構造を描写する。エッセンハイは動植物や建築物のフォルムを有機的に用い、空想的であり真新しい、未知なる風景を生み出している。バエズは自身のルーツに因む文様を多層的に用いながら、文化的、歴史的な背景に根差した流動的で強い精神性を持つ女性の肖像を描き、未来の可能性を主張する。一方、マテリの造る立体作品は大理石や塗装された青銅などの素材を使い、古典的彫刻様式にありふれた日常の物体を組み合わせることで、アートと現実と横たわる矛盾や永遠性を喚起する。ロロンは平坦な金箔や鏡を背景に、東洋絵画由来の花鳥画を思わせる花や模様を、まるで万華鏡を覗いたかのような整然とした力オスとして描写する。ホッドは自身で開発した顔料メディアにより輝く鏡面を描写し、鑑賞者の姿をぼんやりと作品の中に投影することで、鑑賞者自身にアートの意味を自問させる。松山は日常的に氾濫している広告などのイメージソースと伝統的な図像を融合させ、異文化が混じり合う「今」を同時代的なビジョンを用いて創造する。

装飾性が持つ機能性/非機能性という枠組みを超えたこれらの作品は、装飾美の新たな可能性を提示する。組み直す、編集するという行為には、過去に対する深い知識や敬意が必要であり、彼/彼女たちはこのようなプロセスが、情報過多の現代社会に突破口を開く最適な方法のひとつであることを示すのである。

## ■開催概要

展覧会名：FIXED CONTAINED

アーティスト：ブライアン・アルフレッド (Brian Alfred)、フィレレイ・バエズ (Firelei Báez)、インカ・エッセンハイ (Inka Essenhigh)、ニール・ホッド (Nir Hod)、カルロス・ロロン (Carlos Rolón)、トニー・マテリ (Tony Matelli)、松山 智一 (Tomokazu Matsuyama)  
キュレーション：松山智一

会期：2019 年 4 月 20 日(土)～2019 年 6 月 29 日(土)

開廊時間：11:00～18:00 (火・水・木・土) 11:00～20:00 (金) ※日月祝休廊

アーティストトーク：2019 年 4 月 20 日(土) 16:00～

オープニングレセプション：2019 年 4 月 20 日(土) 18:00～

## ■会場概要

KOTARO NUKAGA 〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 TERRADA Art Complex 3F

アクセス：東京臨海高速鉄道りんかい線「天王洲アイル駅」B 出口より徒歩約 8 分  
東京モノレール羽田空港線「天王洲アイル駅」南口より徒歩約 10 分  
京急本線「新馬場駅」北口より徒歩 8 分  
品川駅港南口から都営バス(品 91,98)で「天王洲橋」下車徒歩 3 分

## KOTARO NUKAGA

## FIXED CONTAINED

Curated by Tomokazu Matsuyama

BRIAN ALFRED  
FIRELEI BÁEZ  
INKA ESSENHIGH  
NIR HOD  
CARLOS ROLÓN  
TONY MATELLI  
TOMOKAZU MATSUYAMA

APRIL 20 - JUNE 29, 2019

## ■アーティスト概要



### ブライアン・アルフレッド (Brian Alfred、1974年 - )

ニューヨーク在住。Haunch of Venison (ロンドン)、あいちトリエンナーレ、ソロモン・R・グッゲンハイム美術館 (ニューヨーク)、フリスト美術館 (ナッシュビル) 等で数々の個展・グループ展に参加。サンフランシスコ近代美術館、オールブライト=ノックス美術館 (ニューヨーク)、ヒューストン美術館、ホイットニー美術館 (ニューヨーク)、ビクトリア国立美術館 (メルボルン) 等に作品が所蔵されている。



### フィレレイ・バエズ (Firelei Báez、1981年 - )

サンティアゴ・デ・ロス・カバリェロス (ドミニカ共和国) 生まれ、ニューヨークで活動中。ユタ現代美術館 (ソルトレイクシティ)、ペリッツ美術館 (マイアミ)、Gallery Wendi Norris (サンフランシスコ)、スペルマン大学美術館 (アトランタ)、ウォーホール美術館 (ピッツバーグ) 等様々な場所で作品が展示されてきた。ブルックリン美術館、BNYメロンコレクション、サンノゼ美術館、ハーレム・スタジオ美術館等に所蔵されている。



### インカ・エッセンハイ (Inka Essenhigh、1969年 - )

ニューヨーク在住。バージニア現代美術館、Miles McEnery Gallery (ニューヨーク)、アメリカ芸術文化アカデミーのビジュアルアーツ招待制展覧会、Baldwin Gallery (アスペン)、コロンバス芸術大学、カンサニ・センター (コロンバス)、Pace Prints (ニューヨーク) 等で多くの展覧会に参加してきた。ノース・マイアミ現代美術館、ニューヨーク近代美術館 (MoMA)、サンフランシスコ近代美術館、テート・モダン (ロンドン)、ホイットニー美術館 (ニューヨーク) 等に所蔵されている。現在ニューヨークのドロウイング・センターでインスタレーションが展示されており、Kavi Gupta Gallery (シカゴ) でも展示が予定されている。



### ニール・ホッド (Nir Hod、1970年 - )

テルアビブ出身、ニューヨーク在住。マルティン・グロピウス・バウ (ベルリン)、バス美術館 (マイアミ)、Makasiini Contemporary Gallery (トゥルク)、Gavlak Gallery (パームビーチ)、Michael Fuchs Gallery (ベルリン)、Paul Kasmin Gallery (ニューヨーク)、Jack Shainman Gallery (ニューヨーク)、テルアビブ美術館等で開催された多数の展覧会に参加してきた。ホッドの作品と芸術的手腕は、「ニューヨーク・タイムズ」、「インタビュー」等重要な新聞やカルチャー誌にしばしば取り上げられている。



### カルロス・ロロン (Carlos Rolón, 1970年 - )

シカゴ在住。ダラス・コンテンポラリー (テキサス)、バス美術館 (マイアミ)、ポンセ美術館 (プエルトリコ)、ニューオリンズ美術館、セントルイス美術館等で個展を開催。グループ展はバルティック美術センター (ゲーツヘッド)、シカゴ現代美術館、マルタ・ヘルフォルト美術館 (ハーフォード) 等。また、第52回ヴェネツィア・ビエンナーレ (2007年) のウクライナ館代表も務めた。ブルックリン美術館、テグ美術館 (韓国)、サンディエゴ現代美術館、ナーマン現代美術館 (カンザスシティ)、ニューオリンズ美術館、プエルトリコ美術館 (サンファン)、ピンチューク・アートセンターに作品が所蔵されている。



### トニー・マテリ (Tony Matelli, 1970年 - )

シカゴ生まれ、ニューヨーク在住。Marlborough Contemporary (ニューヨーク)、アルドリッチ現代美術館 (リッチフィールド)、セレスタ・ビエンナーレ、PERROTIN 等の展覧会に多数参加。アーケン近代美術館 (イスホイ、デンマーク)、クランブルック美術館 (デトロイト)、FLAG アート・ファウンデーション (ニューヨーク)、MIT リスト視覚芸術センター、ルートヴィヒ美術館 (ケルン) 等に作品が所蔵されている。



### 松山 智一 (Tomokazu Matsuyama, 1976年 - )

岐阜県生まれ、ニューヨーク在住。ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所、アジア・アメリカン・アートセンター (ニューヨーク)、アメリカン大学カツェン・アートセンター、ジャパン・ソサエティー (ニューヨーク) を始め、ギャラリーや各施設で展示を行ってきた。アジア・アート・ミュージアム (サンフランシスコ)、マイクロソフト・コレクション、シャルジャ・バンク・コレクション、ドバイ王室、ポイント・レオ彫刻公園 (メルボルン)、ナイキに作品が所蔵されている。

## ■展示作品一例



Brian Alfred  
*Sky Tree View*  
Acrylic on canvas  
2018  
40.6 x 50.8 cm



Firelei Báez  
タイトル未定 (*floating woman*)  
Acrylic on canvas  
2019  
109.2 x 115.6 cm



Inka Essenhigh  
タイトル未定  
Enamel on canvas  
2019  
81.3 x 60.9 cm



Carlos Rolón  
*Gild the Lily (Caribbean Hybrid II)*  
Oil, ink, and 24kt gold leaf on linen  
2018  
182.9 x 137.2 cm



Nir Hod  
*THE LIFE WE LEFT BEHIND*  
Oil paint under chromed canvas  
2019  
228.6 x 160.2 x 4 cm



Tony Matelli  
*Bust*  
Concrete, painted bronze, painted urethane  
2019  
91.4 x 60.9 x 43.2 cm



Tomokazu Matsuyama  
*Swell Being Yourself*  
Acrylic and mixed media on canvas  
2019  
261.5 x 185.5 x 4 cm

## ■About KOTARO NUKAGA

KOTARO NUKAGA は東京・天王洲のギャラリー集合ビル TERRADA Art Complex 内に 2018 年秋に開廊。

一般化もしくは常識化された物事について、アートを通して改めて考えるきっかけを与えること、もしくはアートそのもののあり方について考えることをギャラリーの役割と考え、国内外の先鋭的なアーティストを紹介している。

<https://www.kotaronukaga.com>

## ■展覧会に関するお問合せ先

KOTARO NUKAGA 担当：稲葉詩音、倉智涼子

EMAIL : [info@kotaronukaga.com](mailto:info@kotaronukaga.com) URL : <https://www.kotaronukaga.com> TEL : 03-6433-1247 FAX : 03-6433-1257

Instagram : [https://www.instagram.com/kotaro\\_nukaga/](https://www.instagram.com/kotaro_nukaga/)

Facebook : <https://www.facebook.com/kotaronukaga.tennoz/>